

地域の皆さんと共に移住・交流施策の推進やまちの魅力の掘り起こし、情報発信等に取り組む「地域おこし協力隊」の活動状況を紹介します。

▷私たちが地域おこし協力隊員です。



山下
貴
隊員



高瀬
祥彰
隊員

▷活動報告

【東北U・Iターン大相談会に参加しました】



7月15日(日)に東京交通会館で行われた東北U・Iターン大相談会へ当市もブースを出展し、われわれも同行してきました。

会場の東京交通会館には、8階に「ふるさと回帰支援センター」があり、全国の都道府県が相談窓口を設け、随時移住相談に応じています。移住相談会のようなイベントも頻繁に開催されており、まさに移住のメッカともいえる場所なのです。

そんなステキな場所で開催された今回の相談会、東北6県が一堂に会するということもあり、かなり大規模。お客さんもすれ違うのが大変な

くらいにぎわい、五所川原のブースに来てくださった方に市の魅力をPRさせていただきました。

中には、以前、五所川原を訪れたことがあり、また行きたいとブースに来てくださった方も。自分の住んでいる街を気に入ってくれるということは、本当にうれしく感じますし、こういったご縁を大切にしたいですね。こちらの様子はFacebookに掲載しています。ぜひご覧ください。

【立佞武多の制作現場にお邪魔しました】



7月20日(金)に今年の立佞武多「稽古照今・神武天皇、金の鶏(とび)を得る」が完成するとのことで、朝から詰めかける報道陣に混じり、制作現場の取材をさせていただきました。

3階の組み立て場からクレーンでパーツをつるし、立佞武多のてっぺんで職人の方々が組み上げていくのですが、4階の高さに相当する位置で手早く組み上げる様子は、まさに職人技。完成した立佞武多にあかりが灯った瞬間は、鳥肌ものでした。今年から、環境への配慮から内部電灯をLEDに変えたとのこと。球色や塗料の濃さを調整し、発色が自然な温かみを帯びるよう工夫されていたのだとか。

他にも、今まさに肩に飛び乗ろうとする鶏の躍動感や、技術的に難しい12mを超える弓の制作への挑戦など、随所に新たな試みや工夫が。

なんとなく当たり前前に感じてしまっている毎年恒例のお祭りも、誰かの熱意とこだわりがあってようやく形になっているのだと、改めて実感することができた時間でした。

祭りのときは見上げるだけの立佞武多も館の3階、4階から見ると、立佞武多と同じ目線になり、また違った迫力を味わえます。ぜひその迫力を館で味わってほしいです。





取材した様子はFacebookやYouTubeでご覧いただけますので、そちらもぜひご覧ください。

▷ごしょぐらしFacebook・五所川原市地域おこし協力隊SNS

地域おこし協力隊の活動やイベント情報を「ごしょぐらしFacebook」や五所川原市地域おこし協力隊の「Twitter」「Instagram」「YouTube」で見ることができます。隊員目線で五所川原の楽しい情報を発信していきますので、ぜひご覧ください。

▷地域のイベントや面白い取り組み情報募集中

地域のお祭りやイベント、面白い取り組みの情報を募集しています。自薦他薦、規模の大小は問いません。隊員が伺って、取材や情報発信を行いますので、お気軽にご連絡ください。

			
ごしょぐらし Facebook QRコード	Twitter QRコード	Instagram QRコード	YouTube QRコード

今後も活動へのご理解とご協力を
よろしくお願ひします。